

神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年10月1日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 47 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水7, 西8

第 39週

平成30年9月24日 ~

平成30年9月30日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ							2	4	6	12				1	1		4	1	1				1	1	2					

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症	1		3		9		4	4	15	36	1	7	14	7	4	2	1													
咽頭結膜熱								1	1	2			1						1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2			1	1	4	7	2	17				1	1	1	4	3	1	2	1	2	1							
感染性胃腸炎	4	2	3	2	16		5	33	9	74	1	9	7	14	7	8	3	5	1	2	3	8							6	
水痘	6				4	1		2	1	14			1		2	2	2	3	1	2	1									
手足口病	10		2		1	5	10		2	30		2	9	8	5	4	1	1												
伝染性紅斑					1					1										1										
突発性発疹	1	4				1		1	2	9		7	2																	
ヘルパンギーナ	3			1	2	2	10	7	1	26		1	7	6	2	5	1	2		2										
流行性耳下腺炎				2					1	3				2			1													

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎	1		1		4	1			3	10		1	2							1	1		1				3		

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

中央区○アデノウイルス感染症1例:3歳 女
垂水区○細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)1例:年齢性別不明
西 区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:12歳 男

【首都圏および愛知県での風しん患者の増加について】

首都圏を中心に愛知県などで風しん患者が発生しています。
症状や感染対策など、詳しい情報は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/protection/huusin.html>

【市内の感染症の状況】

○ヘルパンギーナ

今年のヘルパンギーナの患者数が8月下旬から横ばいに推移しており、過去5年の同時期と比較して多いです。
ヘルパンギーナは主にコクサッキーA型ウイルスによる感染症であり、
高熱と口腔粘膜に水疱性の発疹がみられる急性のウイルス性咽頭炎で
ほとんどは、自然軽快しますが、まれに髄膜炎や心筋炎などの合併症を引き起こすこともあります。
また、乳幼児では、高熱と口腔内の痛みのために水分摂取ができなくなり、入院が必要になることもあります。
コクサッキーウイルスは、アルコールが効きにくいウイルスのため、施設等で患者が発生した際には、
次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒を行い、感染拡大を防止しましょう。

○インフルエンザ

定点医療機関からのインフルエンザの患者の報告数が増えています。
迅速キットによる検査でインフルエンザA型、B型両方が検出されており、A型の検出数が多いです。

眼科定点医療機関から流行性角結膜炎患者の報告が10例ありました。定点医療機関に聞き取りを行ったところ、家族内での感染が疑われる事例が複数ありました。
「はやり目」とも呼ばれるこの疾患は、アデノウイルスが原因で発症します。アデノウイルスは、咽頭結膜熱（プール熱）や感染性胃腸炎の原因にもなるウイルスですが、疾患ごとに流行を引き起こす型が異なります。しかし、複数の疾患の原因となる型があり、今回の事例のなかでも他院で咽頭からアデノウイルスが検出された家族からの感染が疑われる事例がありました。
予防として、タオルの共用を避け、患者が眼を拭いたティッシュペーパー等の処分を徹底するなど、接触による感染に注意しましょう。また、ウイルスは便中に約1ヶ月排出されることもまれではないため、症状がなくなってからも手洗いを励行しましょう。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「IL」情報センター](#)ホームページを開設しています。詳細は[こちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2018年10月2日作成

全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は18人(うち潜在性結核感染症9人)です。

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	40代	2018年9月13日	2018年9月15日	2018年9月27日	O157 (VT1VT2)	分離・同定による病原体の検出(便)	腹痛、血便	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2018年9月30日	2018年9月30日	2018年10月1日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出(イムノクロマト法)	発熱、肺炎	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2018年8月	2018年9月21日	2018年9月29日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出(大腸粘膜組織)	鼓腸	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種名	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	90代	不明	2018年8月30日	2018年9月5日	<i>E. coli</i>	分離・同定による病原体の検出(尿) 薬剤耐性の確認	尿路感染症	以前からの保菌	-
男	90代	2018年9月20日	2018年9月20日	2018年10月2日	<i>K. pneumoniae (ESBL)</i>	分離・同定による病原体の検出(喀痰) 薬剤耐性の確認	肺炎	医療器具関連感染	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。))

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0~4歳	2018年9月26日	2018年9月28日	2018年9月28日	病原体不明	臨床決定	弛緩性麻痺(左上下肢) 発熱、感覚障害 膀胱直腸障害 髄液蛋白質増加 髄液細胞数増加 脊髄の画像異常所見	飛沫・飛沫核感染 または 接触感染	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。))

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0~4歳	2018年9月29日	2018年9月29日	2018年9月30日	病原体不明	臨床決定	発熱・痙攣 意識障害	飛沫・飛沫核感染	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	-	2018年9月27日	2018年9月28日	無症状病原体保有者	凝集法 TPHA法	なし	異性間性的接触	-

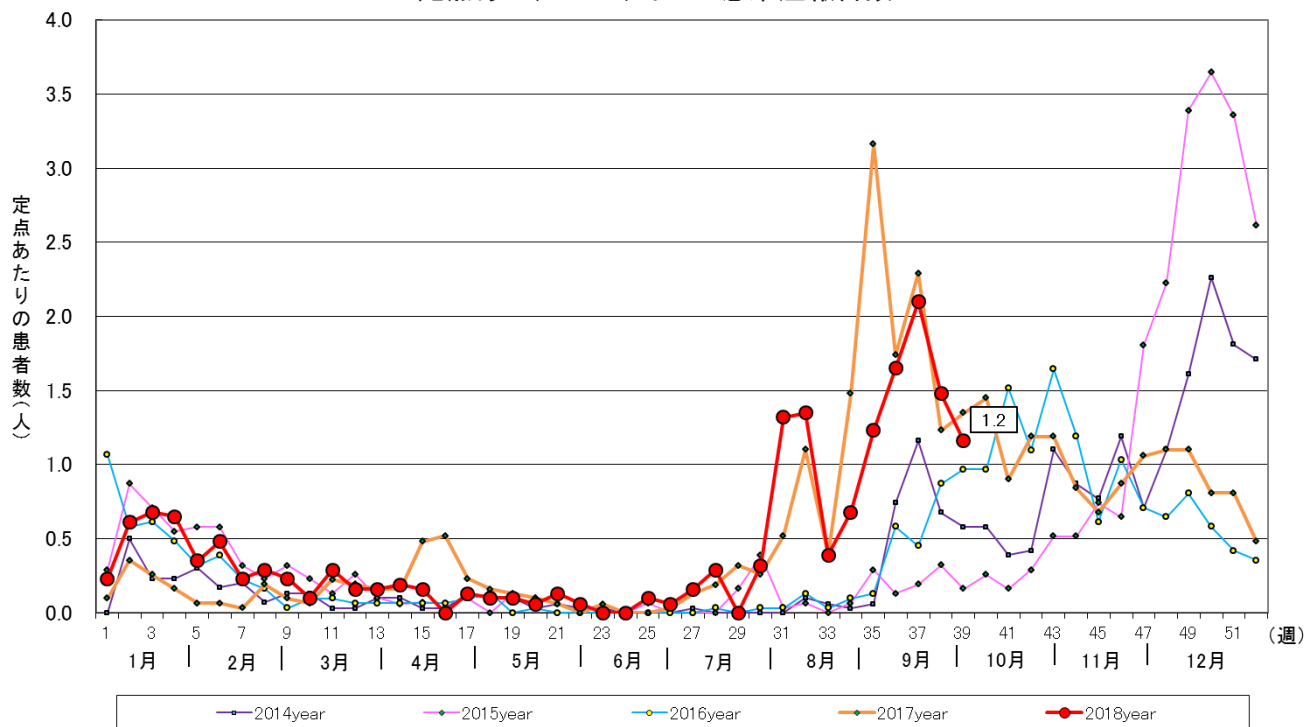
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 百日咳)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	5~9歳	2018年9月13日	2018年9月20日	2018年9月27日	-	検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	夜間の咳き込み 呼吸苦	家族内感染	ワクチン接種歴あり(4回)
女	5~9歳	2018年9月13日	2018年9月20日	2018年9月27日	-	単一血清で抗体価の高値	持続する咳 夜間の咳き込み 呼吸苦・肺炎	不明	ワクチン接種歴不明
女	0~4歳	2018年9月16日	2018年9月30日	2018年10月1日	-	検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	持続する咳 夜間の咳き込み 呼吸苦・嘔吐 スタット・ウブ フノーゼ 白血球数増多	家族内感染	ワクチン接種歴あり(1回)

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスA5型	咽頭ぬぐい液	垂水	1歳9ヶ月女(9/18採取、39.4℃、手足口病)
コクサッキーウイルスA6型	咽頭ぬぐい液	東灘	1歳10ヶ月男(9/12採取、39℃、手足口病)
コクサッキーウイルスA16型	咽頭ぬぐい液 便	中央	3歳女(9月(採取日不明)、発熱あり、急性弛緩性麻痺)
エンテロウイルスD68型	咽頭ぬぐい液 便	中央	5歳男(9/14採取、発熱あり、急性弛緩性麻痺)
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	西	5歳4ヶ月男(9/8採取、38.2℃、RSウイルス感染症)
ウレアプラズマ	尿道分泌物	垂水	男、29歳、尿道炎

定点あたりのRSウイルス感染症報告数



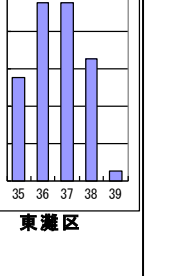
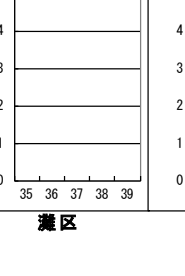
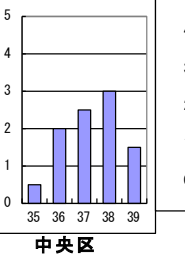
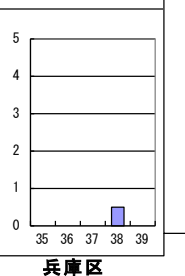
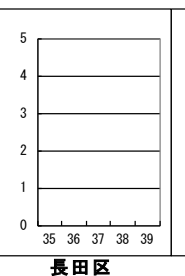
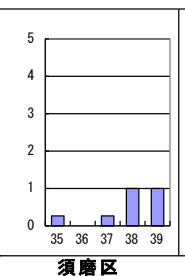
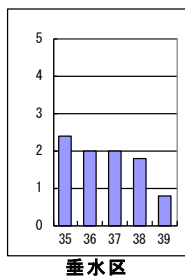
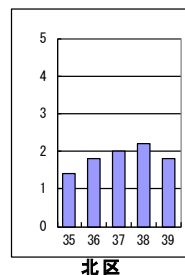
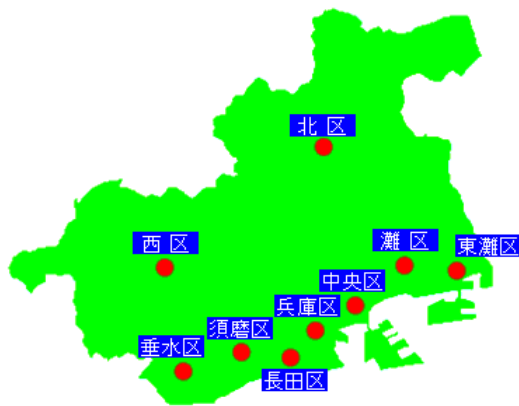
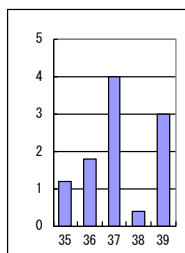
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 35 週 平成30年8月27日

～

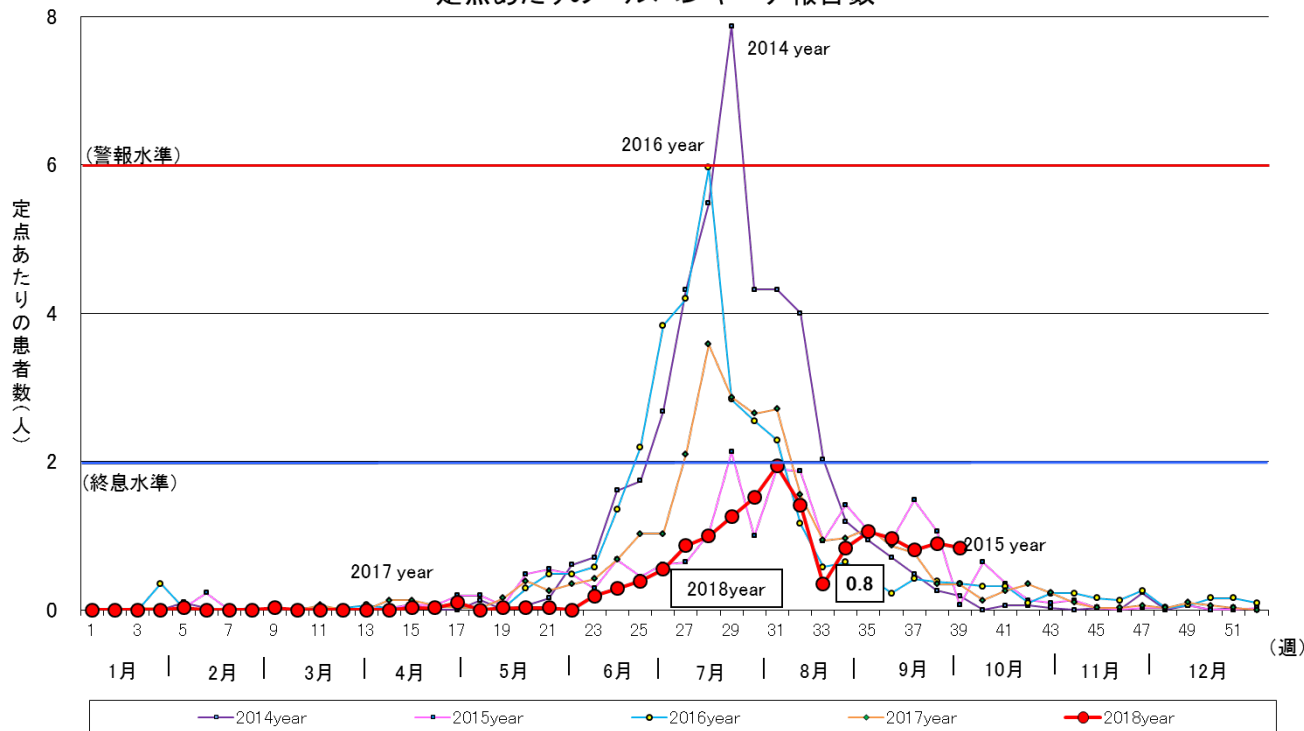
第 39 週 平成30年9月30日

RSウイルス感染症



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均シグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのヘルパンギーナ報告数



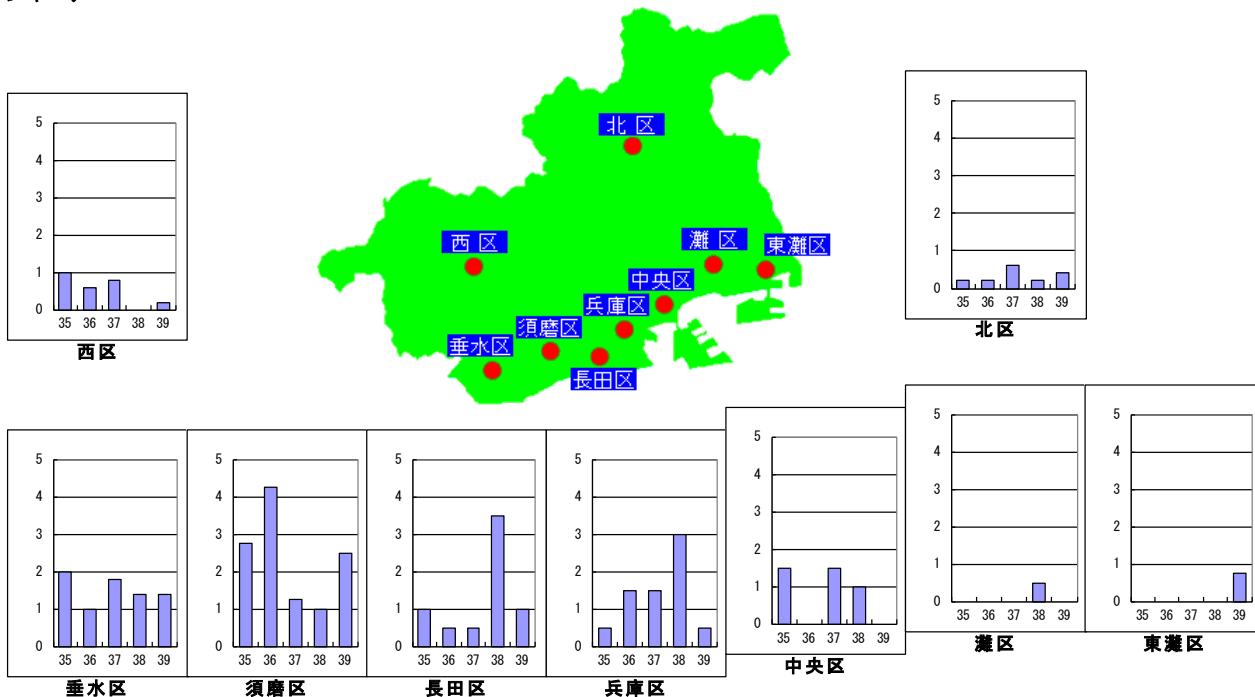
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 35 週 平成30年8月27日

~

第 39 週 平成30年9月30日

ヘルパンギーナ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。